

第6回江東区都市計画マスタープラン 2022 推進会議【会議録】

開催日時	令和5年9月4日(月)午後 3 時 00 分		
開催場所	江東区文化センター3階第1, 2研修室		
出席者 (敬称略・順不同)	【委員】 <委員長> 志村 秀明 <委員> 市古 太郎、川内 美彦、柳井 重人 【区職員】 都市整備部長、都市計画課長、まちづくり推進課長、安全都市づくり課長 沿線まちづくり担当課長、都市交通輸送計画担当課長		
【議題】		【所管】	
(仮称)江東区臨海部都市交通ビジョンについて		都市交通輸送計画担当	
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料 2	歩行者環境についても、都市交通ビジョンに記載するのか。	都市交通ビジョンは、公共交通を主眼としているが、ウォークアブルな道路空間の形成により回遊性の向上が図られると考えているので、歩行者環境についても記載していきたい。
2	資料 2	交通実態の把握の一つとして、歩行者に関する分析も行うのか。	ビッグデータの活用により、可能な限り歩行者の移動実態も把握する。
3	資料 2	通常時の交通だけではなく、非常時の交通は検討しないのか。	通常時の交通を基本としてまとめていくが、新たな交通手段が充実されることで、非常時における交通の選択肢も増えると考えている。
4	資料 2	非常時の交通についての考え方を整理した計画を区は作らないのか。	非常時の交通については、地域防災計画等の中で整理・検討されるものと考えている。
5	資料 2	大規模災害時の対応については、鉄道事業者やバス事業者の BCP の中で備えていると思われるので、事業者の備えとの関係性を考えるとよい。	/
6	資料 2	移動実態の把握については、パーソントリップ調査などを活用し、移動者の属性を踏まえた分析を行ってほしい。	活用するビッグデータは、携帯電話の位置情報を用いており、移動者の属性、江東区内外の出入り、江東区内での移動の実態把握が可能であることから、これらの情

			報についての分析は可能と 考えている。
7	資料 2	都市計画マスタープランで示されている 湾岸軸については、ビジョンの中でどのよ うに解釈されるのか。	湾岸軸については、軸内 での移動実態を分析し、ど のような交通が必要かを考 えていきたい。
8	資料 2	場所と場所の移動だけではなく、その地 域を楽しめるレクリエーション的な移動が臨 海部では重要であり、まちの魅力づくりにつ ながると思う。現状の課題にどう対応す るかという視点だけではなく、交通でどう 魅力をつくるかという視点をもって検討し ていただきたい。	
9	資料 2	臨海部の回遊性の向上や災害時の対応に は、舟運の活用が重要である。社会実験な ども行いながら検討を進めていけるとよ い。	
10	資料 2	性別・年齢・家族構成別でどのようなトリ ップパターンがあり、各トリップパターンが 都市計画マスタープランの都市構造図と整 合する移動か否かを、把握・データ解析で できるとよい。	
11	資料 2	可能な限り、ビッグデータのオープンデー タ化を期待したい。今後の交通サービスや 商業等施設の立地誘導の検討にあたって、 大事な資源となる。	